

第20 回日本早期認知症学会理事会議事録

- ・日時：2017年10月13日（金）18：00～21：00
- ・場所：第一ホテル両国 4階 楓
- ・場所：〒130-0015 東京都墨田区横網一丁目6番1号 Tel：03-5611-5212
- ・出席者：理事長：湯浅龍彦 副理事長：大島扶美 小林清市
理事：浅川毅 石垣泰則 和泉唯信 犬塚貢 大城一 大野ゆう子 奥山恵理子
工藤千秋 小山幸代 重森健太 篠原豊明 鈴木みずえ 宮嶋裕明 山崎雅勇
監事：坂井光蔵 名誉理事 志村孚城
- ・欠席者：理事：井上剛伸 大城昌平 大杉敦彦 榊原隆次 酒谷薫 瀧山嘉久 中村博彦
監事：廣川知志 顧問：新井平伊
- ・陪席者：金森雅夫理事内定者 田平武特任理事内定者（五十音順、敬称略）
- ・委任状 6通

議事

I. 理事会成立についての確認

工藤統括委員長より、理事会構成員役員26名（理事24名、監事2名）中、出席者17名・委任状6名であることから、本学会会則第6条第1項に則り本理事会が成立する旨報告された。

ここで志村名誉理事より、工藤統括委員長に対して理事内定者に招聘状を出したと言っているが出ていないとの指摘および金森理事内定者に遭遇したので下で待たせている旨の発言があった。工藤統括委員長が、遅れて入室した金森理事内定者に招聘状の受領の有無を質問したところ、金森理事内定者より招聘状を受領したという返答があった。

II. 議長、書記、議事録署名人の選出

議長として湯浅理事長、書記として小山理事、議事録署名として石垣理事、宮嶋理事が選出された。

III. 報告事項

1) 会員数、および新入会員数、退会者

湯浅理事長より資料に基づき2016年度の新入会員69名、退会会員47名、現会員数352名であることが報告された。

2) 第17回日本早期認知症学会学術大会報告

小林大会長より、資料に基づき、昨年9月開催第17回学術大会の報告があった。

3) 第18回日本早期認知症学会学術大会報告

石垣大会長より、明日より開催される第 18 回学術大会について報告があった。抄録集の表紙に誤植があり、スポンサー企業には修正誌を添付し再送付する旨の説明があった。

4) 第 19 回日本早期認知症学会学術大会準備状況

重森大会長より、資料に基づき第 19 回学術大会について説明があった

5) その他

和泉理事より、春季ワークショップ開催後の報告があった。

2. 審議事項

1) 理事長選挙結果について

山崎選挙管理委員長より、資料に基づき 2016～2017 年度の代議員補充選挙、理事選挙および理事長選挙についての報告があった。理事長選挙については、理事長立候補者 2 名につき投票が行われ、投票数 21 票、湯浅龍彦現理事長 10 票、宮嶋裕明理事 10 票、白票 1 票であったことが報告された。続いて、坂井監事より選挙開票の経緯が適正になされ、選挙管理委員長の報告どおりであった旨の監査報告があった。山崎選挙管理委員長より先だって審議されたメール理事会決定事項に従い、得票率同数であった理事長候補者 2 名による話し合いを行う旨の説明と結果のいかんによらず学会発展のために一致団結して学会運営を行って欲しい旨の発言があった。続いて、両候補者より、共に互いを推薦する旨の発言があった。

この後、理事会を一時中断して、選挙管理委員・監事同席のもと、得票率が同数であった理事長候補者 2 名による話し合いが行われた。結果、山崎選挙管理委員長より、新理事長は宮嶋裕明理事に決定した旨報告があり、これを承認した。

2) 2016 年度事業報告について

工藤統括委員長より、資料に基づき 2016 年度事業報告（案）について説明があり、これを承認した。

3) 2016 年度決算について

和泉総務委員会財務担当副委員長より、資料に基づき 2016 年度決算（案）について説明があった。続いて、坂井監事より資料に基づき会計監査報告、湯浅理事長より資料に基づき清水公認会計士による監査報告について説明があり、2016 年度決算を承認した。

4) 議長の交代について

湯浅現理事長より、2017 年度の審議事項については宮嶋新理事長に議長を交代した方がよいという提案があり、これを了承した。

5) 2017 年度事業計画について

湯浅現理事長より、資料に基づき 2017 年度事業計画（案）について説明があり、これを承認した。第 2 回春季ワークショップ開催の担当者等について審議がなされたが、継続審議となった。

6) 2017 年度予算案について

工藤統括委員長より、資料に基づき 2017 年度予算案について説明があった。審議の結果、地方の活動を活発にするためにワークショップ関連費を 50 万円に増額すること、予算執行の流動性を鑑み予算書下段に「費目間の流用を認める」を付記することが決定され、2017 年度予算案は承認された。繰越金を周年事業等のための基金として別会計にすること、学術大会に対する援助金を予算化することについては継続審議とすることになった。

7) 論文賞・若手奨励賞について、論文賞選奨内規について

工藤編集委員長より、2016 年度論文賞として下記候補者を選出した旨および論文賞選奨内規変更について説明があった。犬塚選奨小委員会委員長より選考過程について補足説明があり、これを承認した。

【論文賞候補者：合田明生氏 論文名「入院時の認知機能と FIM effectiveness の関係～運動器疾患院患者における検討～」日本早期認知症学会誌 Vol.10, No.1, 43-51】

石垣第 18 回学術大会長より、若手奨励賞として下記候補者を選出した旨説明があり、これを承認した。

【若手奨励賞候補者：①佐竹紅音氏：発表演題名「CO₂ナルコーシスを契機に診断しえた FTD-ALS の一例」、②馬場亜沙美氏：発表演題名「認知症患者における口腔内不良の予防】

8) 功労賞について

湯浅現理事長より、資料に基づき小林理事を功労賞に推薦する旨の説明があり、これを承認した。

9) 学会エンブレムの選奨について

小山副統括委員長より、資料に基づきエンブレム応募、投票結果について説明があった。審議の結果、応募作品が少なかったため決定せずに、継続審議とすることになった。

10) 規約改正について

篠原総務委員長より、資料に基づき会則改定案、各細則・内規（案）の概要について説明があり、継続審議とすることになった。ただし、現学会略称 JESD が他学会と同じであるため、学会略称を JSESD、学会誌略称を JESD に変更する旨提案があり、これを承認した。

以上

議事録署名人

石垣 泰則 

議事録署名人

宮嶋 裕明

